

# 文化庁メディア芸術祭2009 ウィーン展

## 『音 (OTO)』～日本的な感性と表現を伝える～

文化庁メディア芸術祭では、日本の現代文化を海外で紹介することを目的として、海外展を毎年開催しています。今年度は「文化庁メディア芸術祭 ウィーン展 2009」を9月12日から9月20日まで開催します。洗練された歴史都市であるウィーンを舞台に、日本の先端的な文化であるアート・エンターテインメント・アニメーション・マンガなどのメディア芸術を多数紹介します。

本展覧会のテーマは『音 (OTO)』。これまでの文化庁メディア芸術祭の受賞作品には、音をモチーフにした作品が数多く存在します。そこで、「日本人ならではの音の感性」に焦点を当て、さまざまなメディア芸術作品を紹介する企画展として開催します。情感とともに移りゆく四季と豊かな自然風土の中で暮らしてきた日本人ならではの音の感覚や感性、独特の文化を浮き彫りにしながら、音を「聴く」ことのみならず、音を「奏でること」「読むこと」「見ること」のおもしろさと「五感のつながり」について、多様な作品表現を通じて体感できます。

会場では「音を奏でる」「音を読む」「音を観る」の3つのゾーンにアート、アニメーション、マンガ、ゲームなど約80作品を展示します。この他、音楽表現が見られるメディア芸術の源流作品として「鳥羽絵欠び留」や「歌舞音楽略史」の挿絵などの江戸から明治初期の作品も展示します。

また日本とオーストリアのアーティストらが集うシンポジウムを予定しています。

### 開催概要

名称：文化庁メディア芸術祭 ウィーン展 2009  
(Japan Media Arts Festival in Vienna 2009)

テーマ：「音 (OTO)」

会期：2009年9月12日(土)～9月20日(日)

会場：MuseumsQuartier Wien  
(ミュージアム・クォーター・ウィーン)

主催：文化庁、CG-ARTS 協会

後援：在オーストリア日本国大使館

協力：MuseumsQuartier Wien、日本通運

入場料：無料



Web サイト公開中  
<http://plaza.bunka.go.jp/vienna/>

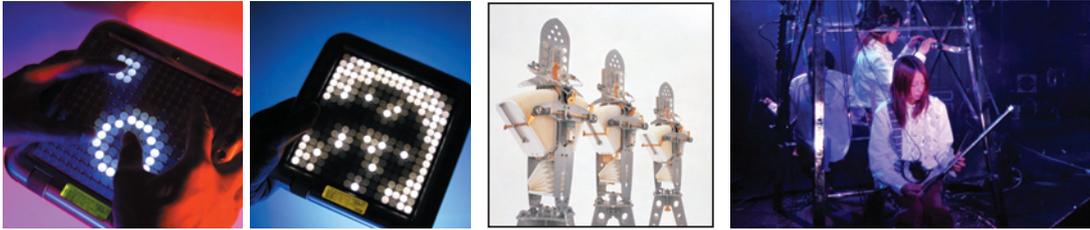
※ 「日本オーストリア交流年 2009」認定事業として開催します。

※ 昨年度は「文化庁メディア芸術祭 シンガポール展 2008」を開催。24日間で海外展過去最高の24,401名にご来場いただいた。

# 展示

## 「音を奏でる」- Make Sound-

楽器をモチーフにしたインタラクティブアートや先端テクノロジーを駆使した未来の楽器、誰もが音楽に親しむことができるゲームなど、約 20 作品を展示。その他、実験的ライブパフォーマンスの映像も併せて紹介します。  
出展作家：岩井俊雄、金箱淳一、クワクボリョウタ、真鍋大度、水口哲也、明和電機 他



左から © 岩井俊雄 / ヤマノ株式会社、© Yoshimoto Kogyo Co., Ltd. / Maywa Denki Photo by Jun Mitsuhashi、© Gil Kuno Photo:Naonori Kohira 衣装協力 :Garcia Marquez

## 「音を読む」- Read Sound-

日本人のマンガに見られる、音をことばにする「音掬（おんゆ）」などの表現を展示・紹介。クラシック、オペラ、ロックなど、音楽の世界を絵と文字で読ませる多彩なマンガ表現を展示します。  
出展作家：一条ゆかり、一色 まこと、さそう あきら、二ノ宮 知子、ハロルド作石、矢沢あい 他



左から © 一条ゆかり / 集英社、© 一色まこと / 講談社、© さそうあきら / 双葉社、© 二ノ宮知子 / 講談社、© 矢沢漫画制作所 / 集英社クッキー

## 「音を観る」- Watch Sound-

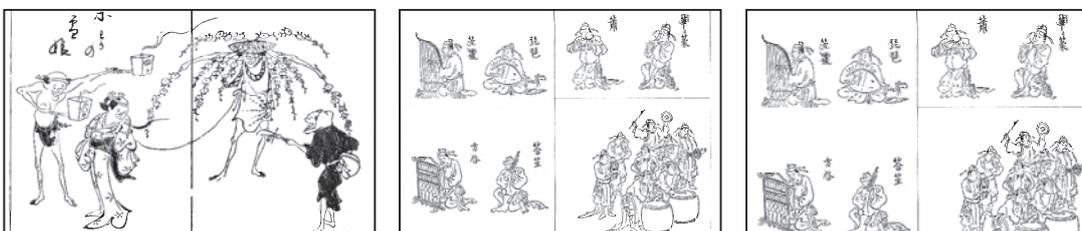
音楽と映像がメッセージ性を携えてコラボレーションしているミュージックビデオやライブパフォーマンスビデオ、サウンドデザインが作品世界を強く印象付けるアニメーションを上映します。  
出展作家：明和電機、佐藤 雅彦+ユーフラテス、森本千絵、中島信也、辻川 幸一郎、稲葉卓也、伊藤有壺、丹下紘希、ピエール瀧、宇川 直宏、渡辺信一郎、神山健治 他。



左から © 株式会社ワーナーミュージック・ジャパン/スリー・ディー株式会社、© 富士ゼロックス株式会社、© 2008 WIEDEN+KENNEDY TOKYO LAB / EMI MUSIC JAPAN INC.

## 表現の源流を展示

メディア芸術における表現の源流となるような作品も展示。前回のシンガポール展では、マンガ表現の源流的作品として「鳥獣人物戯画」や「南総里見八犬伝」、「北斎漫画」を展示。今回は音楽表現が見られる源流作品として「鳥羽絵欠び留」や「歌舞音楽略史」の挿絵などを展示します。



左から 「鳥羽絵欠び留」「歌舞音楽略史」(2点)

# 上映

## ■ 上映会

日本のアニメーションは映像表現だけでなく、アニメーション・サウンドにおいても世界的な評価を得ています。今回は音楽に特徴のある『攻殻機動隊』や『ピアノの森』など、劇場用長編アニメーション作品を上映します。

日程：2009年9月12日（土）～20日（日）

\* Webにてスケジュールをご確認ください。 <http://plaza.bunka.go.jp/vienna/>

入場料：無料

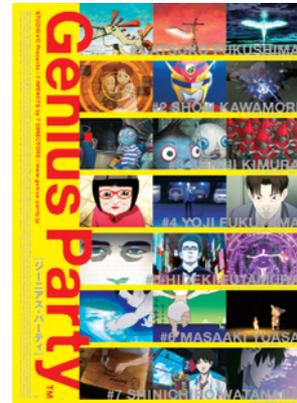
会場：会場内ミニシアター

作品：『カウボーイビバップ 天国の扉』 渡辺信一郎（監督）

『攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX Solid State Society』 神山健治（監督）

『ピアノの森』 小島正幸（監督）

『Genius Party』 渡辺 信一郎 / 他 6 名



左から © サンライズ・ボンズ・バンダイビジュアル、© 土郎正宗・Production I.G/ 講談社・攻殻機動隊製作委員会、© 2007 一色まこと / 「ピアノの森」製作委員会、© Genius Party

## MQWとは

ミュージアム・クォーター・ウィーンは、宮廷の厩舎から生まれた文化ゾーンです。クンストハレ・ウィーン、近代美術館 ルードヴィヒ・コレクション・ウィーン、レオポルト美術館などをはじめ、現代美術の活動拠点であるクォーター 21 や、モダンダンスとパフォーマンスを専門とするダンスクォーター・ウィーンなど、新しいアート表現のための施設が集合したクリエイティブなエリアです。



## この件に関する問合せ先

CG-ARTS 協会 広報 篠原・千葉 TEL 03-3535-3501 FAX 03-3562-4840 URL <http://plaza.bunka.go.jp/q/>  
広報分室 友野・安藤 (ブランデックス・ジャパン) TEL 03-3564-2361 FAX 03-3564-5238

CG-ARTS 協会は 1992 年に設立した文部科学省所轄の財団で、主に CG 分野における『人材育成』と『文化振興』を行っています。